

2023年3月期 第1四半期決算に関するFAQ

※ ここでは、当決算について想定される質問と回答を参考として掲載しています。ご不明点等ございましたら、I R室（03-3349-2526）までお問い合わせください。

**Q1. 主な事業の足元の状況はどうか。**

当社鉄道事業	改札通過人員【7月1日～18日】 2019年度比 定期・定期外ともに80%程度で推移
小田急百貨店	売上高【7月1日～18日】 2019年度同日の80%程度で推移
ハイアット リージェンシー 東京	稼働率【7月1日～13日】 53.4%
箱根エリア	箱根湯本駅乗降人員【7月10日～16日】 平日 △36% 土休日 △37% ※ 2018年度同週と比較
	箱根リゾートホテルの稼働率【7月1日～13日】 40%程度で推移 ※ 箱根リゾートホテル：山のホテル、箱根ハイランドホテル (ホテルはつはなは1月4日からリニューアル工事に伴う休業のため除く)

**Q2. 運賃改定およびバリアフリー料金制度の検討状況はどうか。**

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が見込みづらい状況が続くが、まずはバリアフリー料金制度を活用して、ホームドアを中心とするバリアフリー設備の整備を加速させていく。今後の経営状況や国の新たな運賃制度の検討状況を見極めながら、必要に応じて運賃改定についても検討していく。
- ・ バリアフリー料金制度の届出や設備投資等の詳細については、近日中にお知らせする。なお、小児IC運賃50円は維持したいと考えている。

**Q3. 原油価格の高騰による動力費等への影響は。**

- ・ 当社鉄道事業の動力費は第1四半期で対前年4億円程度の増加、バスおよびタクシー各社の燃料費は対前年1億円程度の増加となっている。

**Q4. 現在改装を進めている新宿西口ハルクについて、10月2日の小田急百貨店新宿店本館営業終了後のフロア構成等は決まっているのか。**

- ・ 小田急百貨店新宿店については、5月18日付のニュースリリースのとおり、新宿駅西口地区開発計画に伴い、2022年10月2日で本館での営業を終了する。現在は、新宿西口ハルクを改装中であり、10月以降は「食品」「化粧品」「インターナショナルブティック」を中心に営業を継続する予定である。なお、現時点でのフロアプランについては同ニュースリリースに記載しているが、展開ショップ等の詳細は9月頃公表できる見込みである。
- ・ また、本館の営業終了に際しては、各種営業施策（売りつくしセール等）を実施するほか、新宿西口ハルクのリニューアルオープン時には、新生新宿店の開店プロモーションを予定している。

（参照）5月18日付ニュースリリース

<https://www.odakyu.jp/news/o5oaa10000023cii-att/o5oaa10000023cip.pdf>

**Q5. 各ホテルの8月以降の予約状況を教えてほしい。**

- ・ 8月以降の稼働率は、シティホテルで60%程度、箱根リゾートホテル※で50%程度と想定している。

※ 箱根リゾートホテル：山のホテル、箱根ハイランドホテル

（ホテルはつはなは1月4日からリニューアル工事に伴う休業のため除く）

**Q6. 2023年度の業績予想について、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響は織り込んでいるのか。**

- ・ 新型コロナウイルス感染症が再拡大していることは認識しているが、政府による行動制限の有無や外出自粛の影響等、今後の需要動向が不透明であることから、2022年4月に公表した業績予想数値を据え置いている。

**注意事項**

本資料に記載されている、計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

以 上